

一般社団法人 日本先天性心疾患インターベンション学会(JCIC) 顕彰細則

2002年1月24日施行
2010年1月21日一部改定
2012年1月19日一部改定
2014年1月23日一部改定
2016年1月29日一部改定
2017年12月20日一部改定
2019年10月7日一部改定
2020年1月24日一部改定
2021年5月17日一部改定
2021年12月22日一部改定
2023年7月21日一部改定

(目的)

第1条

本細則は、一般社団法人日本先天性心疾患インターベンション学会(JCIC)による顕彰に関する事項を定めることを目的とする。

(賞のうちわけ)

第2条

学会賞として小池賞、JCIC賞、富田賞、Young Investigator's Award(YIA)の顕彰を行う。いずれも国内で行われた研究の発表または論文を対象とする。

(授賞対象)

第3条 小池賞

最もクリエイティブな研究発表に対して授賞し、ふさわしい演題が無い場合には授賞を行わないこともある。

第4条 JCIC賞

臨床的に最も有用な研究発表に対して授賞し、毎年必ず受賞者を選出する。

第5条 富田賞

- i. 先天性心疾患のカテーテル治療の発展に寄与するリサーチマインドに溢れた研究計画(JCIC Registry 解析・調査・新規デバイス開発・新規画像開発等)に対して授賞する。
- ii. JCIC Registry を使用した研究課題は学会事業の一環として応募の推奨をする。既存もしくは公的利用に関する研究課題と競合がないかを、事前に JCIC 事務局に問い合わせ・確認をする(担当:JCIC Registry ワーキンググループ学術利用担当者)。公的利用と競合がある場合や既に提出されている学術利用と競合がある場合は、その旨を JCIC Registry ワーキンググループが応募予定者に報告し、応募内容の変更を助言する。
- iii. 応募期間は当該学術集会開催年の前年9月1日から11月10日までとし、募集開始通知および規定に従った研究計画書(別添付)を事務局に調査担当理事宛(富田賞応募として)で応

募する。Microsoft Word または PDF ファイルによる電子メールでも受け付ける。

- iv. 応募研究計画の中から選考を行い、学術集会もしくはホームページにて授賞の公表を行う。
- v. 授賞者は2年後をめどにその進捗状況を Journal of JCIC に報告する。形式は Brief Report とし、他雑誌に投稿予定であれば、secondary publication とするか、1200 字以内で抄録とともに投稿予定である旨を報告するか、のいずれかを選択する。また、投稿予定でなければ、これまでの進捗を 2400 字以内にまとめ、投稿する。

第6条 YIA

- i. 筆頭著者が、論文受理時の年齢 40 歳未満の JCIC 学会会員であり、当該学術集会開催年の前々年 11 月 1 日～前年 10 月 31 日に査読のある雑誌に受理された、小児・先天性カテーテルインターベンションに関する原著・症例報告論文で自薦・他薦、和文・英文を問わない。
- ii. 応募は当該学術集会開催年の前年 11 月 10 日までに、①当該論文別刷(ないしコピー)、②簡単な履歴書(生年月日記載)、③受理されたが未掲載の場合は受理を証明する編集者からのレター、を添えて事務局に調査担当理事宛(YIA 応募として)で応募する。Microsoft Word または PDF ファイルによる電子メールでも受け付ける。
- iii. 応募論文の中から受賞論文の選考を行い、12 月初旬までに応募論文の著者に通知する。
- iv. 受賞論文の著者は翌年の学術集会で受賞記念講演を行う。
- v. 受賞者は学会が指定する Journal of JCIC の号に受賞報告を投稿する。
- vi. 原則として毎年、受賞論文を選出する。

(賞の選考)

- 1) 発表内容に含まれるカテーテルデバイスが適応外使用である場合、所属する施設の倫理委員会によってその使用が承認されていることを選考の前提条件とする。
- 2) 小池賞、JCIC 賞:学術集会において選考を行う。演題採択の時点で学術集会会長により候補演題を小池賞、JCIC 賞にわけて選出する。学術集会においてプログラムで定められた賞選考セッションでの口演の後、選考委員の採点および協議にて選考する。採点方法に関しては、別途定める。
- 3) 富田賞、YIA::選考委員による採点および協議にて選考する。
- 4) 小池賞、JCIC 賞の選考委員は調査委員、理事、当該年度の学会長とする。ただし候補演題や論文に関連する選考委員は除外とする。
- 5) 富田賞、YIA の選考委員は調査委員、理事、当該年度の学会長とする。ただし候補研究に関連する選考委員は除外とする。

(附則)

本細則は 2022 年 1 月 23 日より施行する。

<小池賞、JCIC 賞 選考方法>

- A) 小池賞、JCIC 賞:演題採択の時点で学術集会会長が小池賞、JCIC 賞のそれぞれに候補演題を選出する。学術集会においてプログラムで定められた賞選考セッションでの口演の後、選考委員の採点および協議にて選考する。独創性・方法論・結論の妥当性・臨床的有用性・プレゼ

ンテーション・質疑応答の 6 項目、各 5 点満点で採点する。発表時間遅延、抄録タイトル・内容と実際の発表との相違についてはプレゼンテーション項目の減点で反映させる。各項目において 5 段階評定法による絶対評価とする。対象選考は、選考会議において評価点数を主体として、倫理的配慮を含めた総合的視点から、授賞演題を決定する。

- B) YIA：選考は調査担当理事より選考委員へ候補論文を送付し、選考委員の採点および協議によって選考する。独創性・方法論・結論の妥当性・表現の完成度・臨床的有用性の 5 項目、各 5 点満点で採点する。各項目において 5 段階評定法による絶対評価とする。対象選考は、選考会議において獲得評価点数が最も高い候補に授賞する。同率 1 位の場合は協議の上、決選投票もしくは複数授賞とする。
- C) 富田賞：選考は調査担当理事より選考委員へ応募された研究計画を送付し、選考委員の採点および協議によって選考する。「リサーチマインドに優れた研究課題」としての観点から、審査員一人当たり絶対評価の 5 点満点で採点し、獲得合計数値が最も高い候補に授賞する。同率 1 位の場合は選考委員で協議の上、受賞者を決定する。